## こんな恋してよかった。1

かの苺

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

## 注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。 このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。 そのため、作者また

こんな恋してよかった。 1【小説タイトル】

**ソコード** 

【作者名】

かの苺

ときには、 ときには、 中学2年生からの主人公桃香の恋を小説にしました。 ときには、 ときには、 ときには、 【あらすじ】 ときには、 他に付き合ってる人がいる人を好きになっ 友達が自分の彼をすきになり 告白をされて友達関係が壊れ すきでもないのに付き合って 大好きな彼のことを突然嫌いになったり 好きなフリをして

たり

名前は実際とは一切関係ありません。実話をもとにしたフィクションで、現実にはなさそうな恋を書きました。現実味あふれるなかで、

こんな恋してよかった。

第一章

桃香@

私は桜井桃香

中学2年生です!

私は友達の井上優今日は2年生のクラス発表!

と、どきどきしながらクラス発表の用紙を見る。

「や、やったー!」

なんと、優とおんなじクラスになれちゃ

優はショートカットではきはきしてて

すっっごく頼りになる存在だ。

「桃香!今年もよろしくねっ」

「うんっよろしく!」

一人で色々話しながら教室へ向かった。

「えっ!?後藤啓介じゃんっ!!」教室に着いたとき、優が口を開いた。

「うわー井上かよっ!つか、

なんで

フルネーム?? (笑)」

あ・・あれ?誰だ?この人・

優と、 友達なのかな?

それにしてもドチビだなあ・・

背の低い私よりもはるかに小さい。

でもそれにあった可愛い顔に

茶色い髪が子犬みたいだ。

優?友達?」

「えっ、ああ、うざいんだよ~コイツ!!」

なんでか優は後藤って人を蹴り続けている。 何か優を取られた気分だなー。

「優!席、行こ?」

ん し。

うん」

優はやっと蹴り続けるのをやめ

私と一緒に近くの席に着いた。

まあ、席順なんてどうでもいいだろうから

適当に隣同士にすわる。

そんな私たちを後藤って人が

恨めしそうに

「いってーなあ!!」

と、わざとらしく言いながら見る。

それにむかって優は

あっかんベーをする。

何か、けんかするほど仲が良いって

こういうことなんだなあと思った。

ある日、優と後藤って人がしゃべっていたので

私も混ぜてもらった。

「あ、ねぇ。後藤さんって好きな人いるの?」

と、なんとなく質問をしたら

その質問にはかえしてくれずに

「啓介でいいよ」

って、はにかんでくれた。

なんか、ほんとに子犬みたいな目で言われたら

萌えちゃいそう (笑)

んで、 質問の答えは??」

優がニヤニヤしながら啓介に問いかける。

鈴子さん。

鈴子さんとは、目が大きくて

とても綺麗な二つ結びの女の子だ。

「なるほどねー。」

私と優がハモって言うと

「なんだよー!?」

といって、啓介は

顔を真っ赤にして照れていた。

「あ、でも後もう一人いる・・

と優が言うと、啓介は顔をまた真っ赤にして 「えええ!?誰??」

「お、教えねー。

と言った。

ピンときてしまった。

啓介は優のことがすきなんだな!!-

おお。がんばって応援するぞ!!

これからの学校生活、 なんだか充実してくれそう!

第一章終わり

## 出会い (後書き)

こんにちは~

かの苺です!

恋愛小説をかいてみました~初・・ではないですけど

優と啓介の恋ってありえるのでしょうか?

それでは (\* ^\_\_ ^ \* ) 第2章もおたのしみに~

## PDF小説ネット発足にあたっ

ビ対応 行し、 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きインター 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 います。 そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 タテ書き小説ネッ ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 は 2 0 存書籍 タ いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n4392p/

こんな恋してよかった。1

2010年12月12日01時19分発行